

事業評価シート

事務事業名	少年スポーツ振興事業	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	スポーツ団体等の育成と支援	事業コード	4432

事業の目的	スポーツ少年団等の活動を通じて、スポーツにおけるルールや公平公正に限らず、社会人としてのルールを守ることにより、青少年の健全育成を図る。			
事業の内容	スポーツ少年団に対する育成費と上位大会進出に対し団、団員(選抜)等に派遣費や遠征費等の経費を助成する。			
事業の対象	各種目別少年スポーツ大会主催団体及びスポーツ少年団及び団員			
事業費	年度・区分	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度予算
	金額	4,248 千円	3,342 千円	3,855 千円

事業の効果等	生涯にわたる継続的なスポーツ活動の基盤づくりと健全育成に寄与した。 31団体 622名が団員登録 (一昨年 34団体672名) (ミバス・空手道・相撲・野球・バドミントン・サッカー・スキー・バレー等 14団体が上位大会へ進出により遠征費助成)			
--------	--	--	--	--

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	スポーツ少年団31団体はいずれも活発に活動を続けている。勝敗を決する少年団の活躍も目覚ましく各種大会で好成績を収めている。一方、活動の過熱化も問題となっている。指導者会議などを開催し、活動内容や指導方法についても万全を期するとともに、単位団の活動を支えながら引き続き青少年の健全育成に努めてまいりたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり。
------	---	--------	-----------